

災害から

まちを守る！ 守りたい！ ～宇陀市消防団～

問 危機管理課 (☎ 82・1304 / IP ☎ 88・9070)

①



④



③



②

火事や台風、地震など

災害と隣り合わせの毎日

そんな時に無くてならないのは
地域での防災体制

そして災害からまちを守ってくれる組織の一つが「消防団」です。

ご存知のとおり消防団は、皆さんの身近な住民の方々などで構成された組織。日頃はお勤めをされていてても有事の際には真っ先に現場に駆けつけ、また有事に備え訓練や点検などを行っています。

地域における防災リーダーとして、平常時・非常時を問わず地域に密着し、皆さんの安心と安全を守る重要な役割を担う消防団。

今回の特集では、その活動や団員たちの思いを紹介します。

- ① 毎年4月に行う消防団入退団式
- ② 出初式は毎年1月第3日曜日に開催
- ③ 地域連携防災訓練での消火器訓練
- ④ 警戒の際は車載マイクでアナウンス
- ⑤ 月例の消防ポンプ点検
- ⑥ 小学校の防災学習での消防車披露
- ⑦ まち協でのハザードマップ作成
- ⑧ 女性部による防災紙芝居
- ⑨ 消防団幹部会議

消防団ってどんな組織？

消防団は、消防組織法の規定に基づき、自治体に設置された組織で、宇陀市では宇陀市消防団条例により団の設置、名称や活動区域、消防団員の定員、任用などが定められています。

組織は、消防団長のもと、地域毎の分団に分かれています。火災などの災害時には、多くの消防団員が自宅や職場から現地へ駆けつけ、消防隊員と協力し、日頃の訓練を生かした消火活動・災害対策・救助活動を行います。

宇陀市の消防団って？

宇陀市消防団は、町村合併後、旧町村のそれぞれの消防団の統合により平成20年1月に誕生しました。

現在の体制は、次のとおり16分団54部970人の団員が活動しています。（平成30年4月1日現在）

【団員数】

- 団長 1人 ○副団長 4人 ○女性部 17人
- 大宇陀分団 229人 ○菟田野分団 205人
- 榛原分団 279人 ○室生分団 235人

【消防団車両】

- 消防ポンプ自動車7台
- 小型動力ポンプ付積載車58台
- 指揮広報車4台 ○防災学習・災害活動車1台
- 救助資機材搭載車1台



特集

市政トピックス

うだちから

まちのわだい

みんなで子育て

病院・ウェルネス

お知らせ

掲示板

うだチャン

和を以て貴しとなす

—とともに郷土を守る—
—そのために自分たちができることを—

地域に根ざした消防団

平素は消防団活動に対し、ご理解ご協力をいただいておりますことを、まず皆さんにお礼申し上げます。

私たち消防団はボランティア精神により全国規模で組織化されている団体です。

宇陀市での歴史は古く、合併前の各旧町村でそれぞれ昭和22年から同31年の間に発足され、先人の時代から引き継がれ、まちの歴史とともに歩んできた団体でもあります。

私たちは地元密着型の団体であり、団員それぞれが、地域の事情や地理的状况に一番精通しています。また、日頃から住民の一員として地域活動にも参画し、地域の一人ひとりの顔も分かるぐらいの付き合いもしています。中には、みんなから信頼され、地域の要職を担っている団員もおります。

もちろん災害発生時には様々な役割を担います。

火災現場での消火活動をはじめ、地震や風水害といった大規模災害

発生時の救助・救出、警戒巡視や避難誘導、災害防備など様々な場面で活躍します。

平常時においても防火予防運動や年末特別警戒などの啓発のほか、有事に備えて定期的な資機材や消防水利の点検、関係団体との連携による防災訓練などを行っています。

また、団員一人ひとりが個人としても非常事態に対応できるようAED使用や心肺蘇生などの普通救命講習の受講や新たな災害対応方法としてのドローンやモトクロスバイク講習など各種講習会への団員派遣なども行っています。



▲地域で開催された運動会。消防団は恒例の団員対抗ホース担ぎリレーに出場！

私たちが地域に果たすべき役割は

地域には、自治会をはじめ自主防災組織やまち協がありますが、そんな中、私たちの役割は、災害時、いち早く現場に急行すること。そして水利確保など周辺の方々からの協力を得、そして即座に対応するなど、その時々状況に応じ、『地元で生まれ育った団員ならではの行動』をすることです。

火災の際、場合によっては、消防署よりも早く到着し、ホース展開を行うこともあります。また、自治会と協力し行方不明者の捜索を行うこともあります。

各地域の分団では、自治会やまち協など地域の方々と連携しながら、各々の地域事情にあった特色ある活動を展開しています。

例えば、小学校授業と連携した防災訓練を行っているところや、高齢者など災害弱者の方々の見守り、河川氾濫の恐れがある区域では定期的に対象の方々への声掛け、地域の文化財保護活動と連携した警戒や



▲地域連携型防災訓練の様子
災害弱者の避難支援も重要な役割

防火訓練、地域住民との交流を目的とした地域運動会への参画、また、まち協の活動と一体となって地域の防災マップづくりを行っているところもあります。

こうした日頃からの活動を通して、私たち消防団員は地域防災の要であるとともに、地域コミュニティの担い手、将来のまちの後継者としても期待されていると考えています。

消防団の現状

現在、宇陀市消防団には970人の団員が所属しています。

団員数は、近隣自治体と比較しても多いのですが、これは合併に伴い広大な面積をカバーするとともに、地域貢献を重視するためにこれまで維持してきた経緯があります。



宇陀市消防団 田尻団長
(菟田野下芳野)

昭和 49 年 1 月入団。団員歴は 44 年 9 か月
平成 24 年 4 月より団長。現在 4 期目



▲消防活動には、まず自身の健康と元気が大事！
ウェルネスシティを実践した団員体力測定



▲女性部による普通救命救急講習
AED の使用も活動の基本



▲研修会の様子。時には講師を招き、先進地や大規模被災地での取り組みなどを学ぶ

しかし近年、地域の過疎化高齢化とともに団員の高齢化、若者の消防団離れ、市・県外勤務者の増加などにより、団員の確保が非常に困難になっています。

実際、台風など事前に想定できる風水害については出動団員数は把握できるのですが、突然起きる火災や今後予想される大地震など予測のつかない災害に対しては、実際その時々にとりだけ団員確保ができていいのか想定できないのが現状です。

また、昼間若者世代が地域にいないので、新規団員の勧誘においても、団員のなり手がおらず組織の若返りが困難な状況です。

将来への危機感

そこで私たちは近い将来予想される大地震や、さらに進み行く出動団員の減少などに伴う地域防災力の低下に備え、現在、各団員への調査や意見交換により、将来5年10年先の状況を想定しながら今後の組織のあり方を検討しています。

調査によると、団員の年齢構成上、適正活動年齢層が減少し、現場活動上の安全確保の面で不安が生じています。今後、将来を見据えた後継者の育成、若年層団員の補充を行っていないと組織の継続が非常に困難になってきます。

そして、装備や各所の防災設備についても年々老朽化が進むので、経

費の面でも計画的かつ効率的に更新していかなければなりません。

消防団活動の維持に向けて

そういった状況を踏まえ、私たちは団員確保のため、多くの方が参加しやすい環境を作るとともに、自治会や自主防災組織、まち協などとの連携による地域防災体制の確立を進めています。

また同時に、消防団組織の維持と併せ、より効率的に機動性を高める目的で、平成29年度からは4か年計画の「宇陀市消防団再編計画」に基づき、各分団長と協議しながら組織再編を進めています。

これは将来的に団員数確保が困難な場合でも活動を継続させるた

めの体制づくりであり、従来の各地域での活動も継続しながら、より複雑化する災害にも迅速かつ確実に活動できる体制の確立を目指すものです。

現在の体制に移行し、早10年が経過しました。私たちにも時代と社会情勢の変化に即した組織のあり方が問われています。再編計画の最終年度を目前に31年度には新しい組織体制を作り上げたいと考えており、引き続き団員および地域の方々、関係機関とも十分に議論していきたいと思えます。

これからも皆さんの活動へのご理解ご協力をお願いします。

地域住民の一員として、ともにまちを守りましょう！



室生第3分団 南澤団員
(室生三本松)

平成30年4月入団
入退団式で新入団員代表宣誓を行う

父の姿を見て、 一員になれた 自分も消防団員の

長年、消防団員だった父と入れ替わりで入団しました。小さい頃から父が消防車に乗っているのを見ていたので、「自分も将来あれに乗るのかなあ」とある意味、あこがれがありました。また以前から、地元の祭りや奉仕作業などで近所の団員の方が「そろそろ入団してよ」という誘いがあったのも入団の後押しになりました。

先日の台風の災害出動時、消防車で巡回したのですが、この時、倒木や山間部での河川の流れなど初めて災害の危険を目の当たりにしました。

入退団式で代表宣誓をさせていただきましたが、改めて自分たちの責任の重大さを感じました。

若者がだんだん減っていく状況の中ですが、これから僕たちや下の世代が防災や地域活動の面で、少しでも地域の一員としてみんなのお役に立てていけば、またみんながそんな気運になればと思っています。

団の雰囲気はとてもいいです。世代や仕事が変わっても一つの目的を持って行動しているのでお互い分かり合えています。僕自身まだまだ学ぶべきところは多いですが、一員として認めていただいているという実感があります。

自分が大好きなふるさとのために できること

入団したきっかけは、以前から地域でのボランティア活動に興味があったから。今回、市の代表として操法大会に出場しましたが、この大会では火災現場で「指示確認→ホース延長→機械作動→放水」といった一連の動作を正確かつ素早く行うという実践で必要な訓練ができました。これは自身の安全確保のためにも必要なことです。

選手だけでなく、今まであまり知らなかった団幹部の方や消防署、市役所の方たちとの縁ができたことがとても良かったと思います。

消防団活動なのですが、みんなクラブ活動のように、「優勝」という一つの目標に向かって一丸となつてがんばりました。3か月もの練習は大変でしたが、本当に良い思い出になりました。何より仲間ができたこと、

団は世代関係なく和気あいあいとしています。月2回、消防ポンプや防火水槽の点検、巡回など行っていますが、なかなか活動に來れない人がいること、また若い団員が少ないのが問題です。

今後、地域の過疎化高齢化が進むと団活動の継続がますます難しくなってきました。これから地域の方々と避難訓練など一緒に防災について考える機会がもっと持てたらなあと思います。



大宇陀第1分団 森田団員
(大宇陀拾生)

平成22年4月入団
今年8月開催の県消防操法大会に市消防団指揮者として出場



女性部 堀山部長
(葛田野古市場)

平成28年4月入団
同年10月市消防団女性部結成

ひとりでも多くの人が、 非常時に 自分の身を守るようになってほしい

私たちの役割は、広報啓発活動を通して、普段の生活の中で防災意識を根付かせていくこと。

今後、取り組んでいきたいのが、学生を対象としたAED使用も含めた救命救急の促進や、避難場所への防災ハイキング。

これまでまったく経験のなかった私たちです。最初は敬礼一つとっても分からず、礼式訓練や心構えなど消防団員として学ぶことがたくさんで苦労しました。

学生の方には、いざというとき率先して活躍できる知識や行動力を、また地域の皆さんやファミリーの方には、ハイキングなどを通じて、地域の地形や危険な場所、どういった経路で避難すれば安全か、などを楽しみながら身に付けてほしいと思います。

現在、子どもたちを対象に防災紙芝居で逃げるときの合言葉「おはしも」のお話をしています。

また、「停電になると、みんなの家では何が使えなくなる?」「災害時に使える便利なものって何かな?」など、クイズ形式で災害時の行動についても説明しています。子どもたちに啓発すること、家庭でも防災に

関心を持ってほしいです。

これからも、団員みんながアイディアを出し合ってがんばって活動を進めていきます!



久保 危機管理監

消防団、消防署、市役所はそれぞれ別の組織ですが、災害時は連携・協力しながら、各々の命令系統で事態の対応にあたっています。危機管理課は消防団の事務局として、あくまでも環境整備や事務上のサポートなど団員が安全かつ円滑に活動できる後方支援を行い、組織の運営は全て団員の方々の

まちの安全・安心を守る 責任感と地域愛に感謝

行っていただいています。

そういった中で私たち行政は消防団の「自分たちで守ることを地域で指導、啓発する役割」「地域防災の中核として専門知識と機動力を備えたり「リーダー的役割」に強く期待と信頼を寄せています。

本市消防団は都市部と比較しても地元との関わりが深く災害弱者など各世帯の状況も把握し、よりきめ細かで迅速な動きをされております。これは非常に誇れることです。

現在、団員不足など消防団の抱える課題は深刻なものがあります。

社会情勢の変化による団員確保と活動の維持継続など、宇陀市としても、他の事例を参考に工夫や研究を重ねていかなければなりません。

今後、発生しうる大災害においては行政だけでは対応が困難です。

消防団は「公助」の役割だけでなく、地域の「自助・共助」活動のつなぎ役としての役割が非常に重要です。また、団員の皆さんの持つ、知識や奉仕精神は、地域の安全安心にも必要不可欠です。私たちも精一杯サポートします。これからもよろしく願います。

ともに「ふるさと」を守る 消防団員募集！

来春4月1日から活動できる志ある団員を募集しています。ぜひ、お気軽にご相談ください！

今年4月に入団しました(^^) がんばります



それぞれの知識や経験を活かした活動が まちの力に！

- 【待遇】①消防団員は、非常勤特別職の公務員
②退団時の退職報償金制度（5年以上の活動が必要）
③活動中の負傷に対応する公務災害補償
④活動に必要な被服の貸与
⑤功労・功績への表彰

【要件】市内在住の18歳以上の方（男女問いません）
地域防災への熱意があり、かつ健康で消防団員としての品位を保持できる方

【申し込み】12月28日（金）までに消防団員か 問へ
問 危機管理課（☎82・1304 / IP ☎88・9070）

今日も元気で 消防団活動 ヨシ！
宇陀市消防団 ゼロ災でいこう ヨシ！
家に帰るまでが 消防団活動 ヨシ！
一人ひとり 大切な団員 ヨシ！

—宇陀市消防団 活動スローガン—



自分・家族・大切な人を守るためにも、まず登録を！

緊急情報・行政情報メール配信システム

宇陀市安全・安心メール

【配信している情報】

- ・火災情報・気象情報
- ・防犯・安心情報
- ・暮らしの情報
- ・イベント情報

それぞれ受信する情報は選択することができます



問 危機管理課（☎82・1304 / IP ☎88・9070）

消防団員は必須！